

白河駅前のイルミネーションが点灯
「希望の光」が幻想的な光景をつくる

JR白河駅前から市立図書館まで続く通路沿いに、約2万球のイルミネーションが点灯しています。

これは「希望の光」をテーマに、市中心市街地活性化協議会が様々な団体の協力を得て装飾したもので、12月14日から点灯を開始し、2月11日まで実施されます。

大正建築の白河駅舎やモダン建築の市立図書館の明かりと、イルミネーションが作り出す幻想的な光景を、ぜひご覧ください。



▲JR白河駅前のイルミネーション

糖尿病予防特別講演会
糖尿病予防のポイントを語る

11月30日、市立図書館で「糖尿病予防特別講演会」が開催され、約140人が参加しました。

講演会では、福島県立医科大学医学部医学科准教授の佐藤博亮さんが「糖尿病はなぜ怖い？」をテーマに、糖尿病や合併症を予防するためのポイントや、健診を受けることの大切さなどを話しました。

また、講演に先立ち、血糖値の改善に取り組んだ2人による体験談の発表や、糖尿病ゼロ作戦標語コンクールの表彰式が行われました。



▲真剣に話を聞く参加者

市民樹木剪定講習会
樹木の管理方法を学ぶ

11月14日・21日の2日間、城山公園（郭内）で「市民樹木剪定講習会」が開催され、市内緑化の促進と公園内の樹木をボランティアで管理している「樹木の里親制度」の登録者を含む23人が参加しました。

講師を務めた(有)永野造園代表取締役の永野常芳さん（大信隈戸）が、松や梅などの初歩的な剪定知識や技術、実践的な技術など、樹木の管理方法を分かりやすく楽しく説明し、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲分かりやすく説明する永野さん（左）

まちの話題やイベント
を皆さんに
まち
Topics



▲パネルディスカッションの様子

景観まちづくりシンポジウム
景観でおもてなしの心をかたちに

11月23日、市立図書館（道場小路）で「白河における景観まちづくり～景観による地域の活性化を目指すために～」をテーマにシンポジウムが開催されました。

基調講演では、東京大学アジア生物資源環境研究センター教授の堀繁さんが景観について分かりやすく解説し、景観でおもてなしの心をかたちにすることが商売繁盛や地域の活性化につながると話しました。続いて行われたパネルディスカッションでは、白河らしさと地域活性化の関係や、景観まちづくりを進めるためにこれから取り組むべきことについて、意見が交わされました。

会場には約150人が来場し、参加者は興味深く耳を傾けていました。



▲興味深く耳を傾ける参加者

災害に係る情報発信等に関する協定を締結
大規模災害発生時の情報発信に一役

市では、災害発生時に、ホームページのアクセス急増によるサーバの停止で情報発信に支障をきたすことを防ぐため、複数の発信手段の確保に努めています。そのひとつとして、11月13日、ヤフー(株)と「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結しました。これにより、有事にサーバの負荷を軽減させるキャッシュサイト（ホームページの複製）を公開、災害情報を発信するほか、平時でも避難所マップをヤフーのサイト上に掲載できるようになります。



▲ヤフーのサイト上に掲載する避難所マップ（イメージ）